

天塩川ひーふる

支流パンケベオッパ川(剣淵町)

昔はみんな、少年だった。

アルパカをテーマにして、団塊の世代が故郷の丘に集った。そして、まちおこしの風、再び。

よくシバレタ2月の下旬、剣淵町のビバアルパカ牧場を訪ねた。

「道北って、家族で一日低料金で楽しめるところが少ないでしょう。この周辺は温泉あり、パークゴルフ場あり、桜の名所ありでとてもいいところなんですよ」と女性ならではの視点で剣淵の良さを語る(株)ビバカンパニーの小澤裕子社長から、山頂までスノーモビルでお客を運んでいる井下オーナーを紹介された。

突然、ペルーからアルパカを連れてくるなんてオモシロイ人に違いない!



剣淵町出身で旭川市在住の井下佳和さん(61歳)は、道北の発展のために塩狩峠の北側、和寒町、剣淵町、士別市エリアが元気になるなければいけないと思い、剣淵のビバカラススキー場跡地を買ってアルパカ牧場を核にした体験観光による地域おこしを仕掛けている。

作爲的に作られていない昔ながらの農村景観と、そして住んでいる人の温かさを生かした観光振興だ。開業から2年余り、中国の旅行ガイドブックで紹介されたビバアルパカ牧場には、冬でも外国人客がやってくるようになった。

「剣淵駅前のラーメン店から

風の人

店主が、ガイドブック片手に『アルパカ、アルパカ』と言う中国からの個人旅行者を出前のクルマに乗せて連れて来てくれた。剣淵はそんな優しさにあふれた町です。広域で、外国人に優しい観光地づくりに取り組んでみたいんです。」

旭川から塩狩峠以北へと観光の導線をつくるための、自転車によるまちおこしへと夢はふくらむ。すでにマウンテンバイクのコースは作った。さらに幼児向け自転車・ストライダーや自転車クロスカントリー競技・シクロクロスの里づくりなど色々なアイデアがあるし、ボートを使って剣淵川を下るラフティングも、事業化したくてうずうずしている。



「住んでいる人が町のよさを語れないといけない。町の良いところを見つけてほめることが大切です。座右の銘が「実るほど頭を垂れる稲穂かな」。風の方は、まことに謙虚でシャイなフロンティアだ。



モータースポーツが大好きな井下さん。客を乗せて、町内が一気に見えるスキー場山頂まで駆け上がるのがオーナーとしての仕事だと、嬉々としてスノーモビルにまたがる。

フロンティアの血がさわぐ

喜びがあります」開拓者の血が流れているんですよ、きっと。

快活に夢を語る井下さんだが、しかし、なぜ映像会社の社長が故郷で畑違いの事業をすることになったのか？

その生い立ちは、昭和25年3月生まれ。競争で高度経済成長社会の荒波をくぐり抜けてきた団塊世代の最終ランナーだ。

剣淵町内西岡地区に農家の3男として生れ育った。高校時代より旭川に出て学生、社会人になり、30数年来、映像メディアの仕事で稼業として現在に至る。その間、道北地方初のネット映像会社など、数々の初モノ事業を手がけた。そして、修学旅行で農業体験させる事業を行う会社も作っていた。それが(有)アグリテックという農村と都市とを結びつける会社だった。「誰もやっていない事業は苦労も多いけど、アイディアが実現する

そんな井下さんを取り囲んで、一緒にふるさとの活性化をサポートしてくれる仲間がいる。「それが今、この事業を進めていけているバイタリティの源です」とおっしゃる。一方

「平日は旭川、土日が剣淵ですから、これを始めてから一日も休んでいないですよ」と言いながら、目が笑っているのは、充実している証拠。「アルパカは夕方4時になると小屋に入るので、否応無しに営業が終了します。日が昇ってから暮れるまでが一日という区切りがあるのが、充足感があつていいんですよ。ここが僕の心の休息時間なんです。ここに来ればアイディアも浮かびます」。

農村風景の中で



アルパカの飼育長は井下さんの実兄。元農家だけに家畜の世話はお手のもの。出産に立ち会っている剣淵町生まれのトビー(左)は、飼育長のそばについて離れない。

ビバアルパカ牧場の沿革

- ◇2007年11月、剣淵町にアルパカを搬送。高橋毅さんの牧場で試験飼育開始。
- ◇2009年7月、アルパカの赤ちゃん誕生。
- ◇2009年10月、那須高原より4頭のアルパカが到着。ペルー大使を迎えてオープニングセレモニー。アルパカ牧場の本格営業開始。
- ◇2011年12月ハートのイルミネーション点灯開始。現在、7頭のアルパカを飼育中。間もなく8頭目が産まれる予定。

営業時間9時～17時、年中無休。入場料大人500円。剣淵町東町3733番地旧ビバカラススキー場跡。問合せ電話0165-34-3911(株式会社ビバカンパニー)



で、往々にして、地元に住んでいると町の良さが見えづらいものらしい。「観光客が感動しているのは、剣淵の飾らない農村景観です。」井下さんは、まちづくりに関わってきた同世代の町民と交流しながら、新たなまちおこしの種を蒔きつづけている。

まちづくりの系譜

アルパカ牧場開設に協力した町内有志は、どんな人たちか？1988年に発足した「けんがち絵本の里を創ろう会」はまさにまちづくり団体だった。カムイミントラ54号(りんゆう観光刊)には「絵本を核にしたさわやかなまちづくりが人の心をあためています」と綴られている。～この比較的恵まれた農村にも過疎化は迫り、1万人近い人口は1970年代から急激に減りはじめ、現在は約4700人にまで落ち込んでいます。この危機感が商工会の青年たちのあいだに広がり、活性化への模索がはじまったのです。～と紹介された一村一品運動の成功事例だった。

絵本の里のまちづくりは過疎に歯止めをかけられたか？

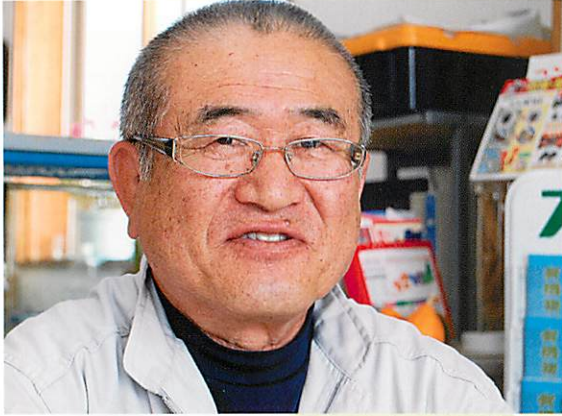
剣淵町の人口推移をみても、1970年(昭和45)の7056人を100%として、20年後の1990年(平成2)が2053人減少の66.7%、さらにそれから20年後の2010年(平成22)が1134人減少50.2%となっており、絵本の里づくり活動が軌道に乗ってから、過疎化にブレーキがかかったように見える。ちなみに、上川北部の他市町村データを見ると、和寒町は1970年を100%として、1990年の66.1%から2010年の45.0%に推移。同様に士別市が73.8%から52.6%、名寄市が84.8%から59.8%、美深町が62.1%から45.2%、音威子府村が55.8%から35.0%、中川町が58.9%から40.2%に推移している。

土の人

絵本の里活性化研究会会長の西尾政男さんを訪ねた。

「剣淵町は一村一品運動が盛んになり始めたころ、もう20年以上前になりますか、熱心なリーダーがいて、当時の商工会青年部員だった僕らもたきつけられて(笑い)、絵本の里づくりの活動に没頭しました。」この農商工の民間の熱意に行政のスタッフも触発されて、いまの絵本の里の定着につながっていると自覚しています。

「しかし、まちづくり活動にもマンネリや世代間ギャップが生まれます。また、穏やかながらも過疎化は進んでいます。今後、どうやってまちづくりの火をともし続けていくかが、地域の課題です。」



西尾さんの本業は農機具販売。「これから春先が一年で最も忙しい時期です」と話す西尾農機具商会の会長。息子さんが社長として後を継いでいる。

「いま、農家の青年部、商工会の青年部、役場の若手職員らに参加してもらって絵本の里ミーティングを行っています。これは、新しい世代に絵本の里のまちづくりに触れてもらいながらの、将来の人材育成の意味もあるんですよ。」

「実は今、映画を製作する話が進んでいて、若い人に実行委員をやってもらえるといいんだけどなあ。」20年前とは違って商工会副会長の要職も担う立場になった西尾さん、今度は次の世代を担い出そうとしている。

映画「じんじん」がやってくる!

絵本は子どもがばかりが楽しむものではない。絵本は人にと



当然、映画にも登場してくるまちのシンボル「けんぶち絵本の館」

て大事なものは何かを教えてください。

そんなヒューマニズムあふれる物語が、けんぶち絵本の里を舞台につくられることになった。

井下さんの投じた一石から、絵本をテーマにした映画「じんじん」の製作に一役買おうと万年青年たちが、また動き始めた。

その映画に携わった俳優の大地康雄さんが、屯田町内の高橋農場などでまる一日、剣淵町に滞在した。

「大地さんは、土に心を癒す原点があると考えていました。農業と絵本をつなげて現代の日本人が忘れていたものを表現したいようです。」高橋さんも「絵本には文明社会に疲弊した人の心を復元する力がある」と確信しているのだ。



ちょうど、「けんぶち絵本まつり」開催中の週末。多くの来場者がある。



創ろう会初代代表の高橋毅(たけし)さんは農業者の集まり『生命を育てる大地の会』のメンバーとして、アルパカの試験飼育に携わった。「アルパカはアンデスの出身。私のところで作っているカボチャ、ジャガイモ、トマトはすべてアンデス原産ですから、アルパカもなにかなるんじゃないかと…」頼まれたら嫌とは言えない性格の高橋さんは、剣淵入植3代目。宮城県から明治末期に入った、庄屋の娘だった祖母の語り部の魂に導かれて分け入った道が、絵本の里の未来をひらく道になった。本人曰く「西尾さんらにうまく騙され担がれてしまった」というがまんざらでもない様子。それにしても「農家のオヤジが外に出歩くということは、家族の理解があったからこそですよ。」



宮澤賢治の童話が好きなことから「天の川農園」と命名された高橋さんの農場。



熱き心でシバルを吹き飛ばす 女たち、男たち。



大河と共に
北へ向かえ

冬のイベント編

トナカイでサンタがやってくる

幌延町

夏にも登場いただいた幌延町職員の伊山英貴さん(写真中央)ですが、四季を通じてもう大忙し。秋は「ブルービーファスティバル」を準備していたが開催当日悪天候のため延期となり、今回取材した「トナカイホワイトフェスタ」と12月18日同時開催となった。会場のトナカイ観光牧場では伊山さんがリーダーとなって、トナカイそりを引いたり、スノーモービルを運転したり、ゲームをしたりと大活躍の人気者。伊山さんは幌延を盛り上げるため日夜、汗を流していらっしゃいます。



★お問合せ:01632-5-2050
幌延町・幌延トナカイ観光牧場
(Airてっし「天塩川ものがたり」として平成24年2月1日に放送されました)

厳寒の湖の美しさにうっとり

幌加内町

シュマリナイ湖ワールドセンターのスタッフ黒田綾子さん(写真左)は奈良県の出身です。朱鞠内湖の魅力に取りつかれ、2年前になんと単身で朱鞠内にやってきました。自然が大好きでシーズンを通して自分も楽しみながら仕事に取り組んでいます。湖に生息する魚や周辺に咲く植物なども2月11・12日一泊二日で開催された「天使の囁きを聴く集い」は昭和53年2月17日に幌加内町母子里で記録したマイナス41.2度を記念して開催したイベントで今年24回目となりました。



★お問合せ:0165-38-2101
幌加内町・NPO法人
シュマリナイ湖ワールドセンター
(Airてっし「天塩川ものがたり」として平成24年1月18日に放送されました)

新企画の仕掛け人

剣淵町

剣淵の旧スキー場を再利用したアルパカ牧場では斬新な取組を行っています。その仕掛け人が㈱ピバカンパニー社長の小澤祐子さん(写真左)です。毎週土曜日にはインターネット生放送「道北彩発見」を発信。アルパカ牧場、マウンテンバイクコース、冬のエアボード大会、そして今年「あかりde Night」を企画。キャンドルを牛乳パックで覆うエコキャンドルを約1,000個集め、レイクサイド桜岡の斜面に並べ、とてもメルヘンチックな情景です。担当は中田祥仁さん(写真中央)。2月25日(土)に開催されました。中田さんはスノーモービルも運転しますよ。



★お問合せ:0165-34-3911
剣淵町・ピバアルパカ牧場
(Airてっし「天塩川ものがたり」として平成24年2月22日に放送されました)

北緯45度のしばれを満喫

中頓別町

「しばれ」という言葉はいかにも寒そうだなって感じします。当日も深々と雪が降り、大変しばれた一日でしたが主催者の中頓別町観光協会会長の桜田守さん(写真右)は会長としての仕事を朝早くから夜まで老体に鞭打って中頓別の活性化のために一役買おうと精力的に行き、マイナスのしばれをプラスにと考える会長でした。今年の「北緯45度しばれまつり」は1月28日に開催となり、会場のJR旧天北線中頓別駅周辺にできたメモリアルパークでは、朝から晩までしばれる中、多くのお客様が参加していました。皆様もこの「しばれ」を体験しに来て下さい。



★お問合せ:01634-7-7510
中頓別町・中頓別町観光協会
(Airてっし「天塩川ものがたり」として平成24年3月14日に放送されます)

アイスクャンドルの女神たち

下川町

今年のアイスクャンドルミュージアムは若いスタッフがいっぱいです。その中で取材を仕切ってくれたのが古屋麻美さん(写真右)です。古屋さんは今年から主催者側の立場でイベントを盛り上げます。このイベントには3つのコンセプトがあり、まず万里長城を中心としたアイスクャンドルパーク、フレベで行うアイスクャンドルスクエア、そして3月18・19日に開催されたアイスクャンドルフェスティバルがあり、1週間に亘ってのロングラン開催です。古屋さんは若さを武器に懸命に活動されていました。



★お問合せ:01655-4-2718 下川町・NPO法人しもかわ観光協会
(Airてっし「天塩川ものがたり」として平成24年3月21日に放送されます)

天塩川中流域でいきいき情報発信!
コミュニティラジオ局
Airてっし
地域情報番組!!

2011年6月から毎週水曜日、午前11時30分から12時まで放送しております「天塩川ものがたり」もいよいよ2012年3月28日で最終回となります。今まで放送した「天塩川ものがたり」はインターネットでお楽しみいただけますので是非ご覧下さい。

www.nayoro.fm/teshiogawa/

毎週水曜日 11:30～「天塩川ものがたり」～12:00

●毎週月曜日 15:00～「道の駅からこんにちは」～16:00 ●毎週火曜日 14:00～「まるごとイオン」～15:00

平日の
情報
ライ
ブ
番組

7:00～「おはようてっし」～10:00
天気・交通情報/JR各駅～いってらっしゃい/てっしインフォメーション/名寄市からのお知らせ/イオン情報/名寄振興公社情報/てっしネットワークチャンネル/名寄新聞・北都新聞ニュース/北海道新聞ニュース/西條情報/給食献立/モーニングブレイク/12星座占いランキング

12:00～「お昼の公園通り」～14:00
天気・交通情報/名寄新聞・北都新聞ニュース/名寄市からのお知らせ/新着図書情報・もう一品いかが?・ちょっとおいしい話・ミニポップチャート/北海道新聞ニュース/天気・交通情報

16:00～「てっしジャーナル」～18:15
天気・交通情報/JR情報/北海道新聞ニュース/旭川地方気象台/名寄警察署パトロールメモ/週末観光情報/交通安全メモ/お悔やみ情報/名寄市から/名寄振興公社情報/名寄新聞・北都新聞ニュース